



日本—米国 後半、同点ゴールを決める宮間(左)＝フランクフルト



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2011年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

mobile.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」本紙、当社ホームページをご覧ください。

金こそでな

米と激闘、PK戦制す

サッカー女子W杯

沢、MVP

【フランクフルト共同】

サッカーの第6回女子ワールドカップ(W杯)ドイツ大会は17日(日本時間18日)、フランクフルトで決勝を行い、日本代表「なでしこジャパン」は2-2の激闘からのPK

K戦を3-1で制し、3大会ぶり3度目の優勝を狙った米国を破って初優勝した。国際サッカー連盟(FIFA)主催大会での日本の優勝は、男女を通じて史上初めて。

後半に先制された日本は、MF宮間あや(岡山湯郷)のゴールで追い付いた。延長も先行を許したが、主将のMF沢穂希(INAC)が同点ゴールを決め、PK戦に持ち込んだ。沢は大会の最優秀選手に選出され、5ゴールで大会得点王にもなった。

日本 2 延 1 0 0
1 0 1 長 1 2 米 国

(PK 3-1)

戦に持ち込んだ。沢は大会の最優秀選手に選出され、5ゴールで大会得点王にもなった。